

## 上関地点 平成28年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生生物のうちハヤブサ調査において、5月に幼鳥の巣立ちを確認した。

なお、その他の陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要			
水質	陸域工事 排水の水質	4月8日 5月2日 6月2日 7月5日 8月2日 9月1日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-
			項目	調査結果	管理目標値	
			水素イオン濃度	6.7～7.4	5.0以上9.0以下	
			浮遊物質量 (日平均値)	7mg/L 以下	150mg/L 以下	
陸生生物	ハヤブサ	4月12, 26日 5月10, 24日 6月7, 21日	4月にふ化したヒナを確認し、5月、6月には巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。なお、親鳥は各月で確認した。			写真1
	植生	5月9, 10日 7月25, 26日	イヨカズラを8箇所19株、ジュウニヒトエを41箇所324株、イヌノフグリを2箇所73株、キンランを3箇所3株、ギンランを1箇所1株、ビャクシンを1箇所1株確認した。			写真2
海生生物	潮間帯生物	4月25, 26日	植物ではヒジキ、サビ亜科など45種、動物ではヨメガカサガイ、クロフジツボなど31種を確認した。			写真3
	海藻草類		ノコギリモク、サビ亜科など51種を確認した。			
	底生生物		サザエ、ムラサキウニなど6種を確認した。			
	スナメリ	4月～9月 (週1回・計24日)	確認回数は計62回、確認頭数は延べ154頭を確認した。			-
	カクメイ科等の貝類	5月24～26日 8月1～4日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 落石の危険性があるため、安全を考慮して、タイドプール2箇所のうち1箇所で調査を実施した。			-

(その他) 鼻線島のミサゴ(準絶滅危惧種の鳥類)の繁殖行動状況について、継続観察した結果、8月に巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。

※準備工事の一時中断に伴い、平成25年度から調査項目および、調査頻度等を見直している。

## 【参考】

### 《環境監視等調査計画以外の環境調査》

#### ○カンムリウミスズメ(写真4)

4月に延べ2個体(祝島の東), 5月に延べ2個体(祝島の南東), 7月に延べ6個体(天田島の北東, 鼻線島の西, 鼻線島の北), 8月に延べ1個体(天田島の南)を確認した。

#### ○カラスバト

計画地点では姿および鳴き声は確認されなかった。

なお, 鼻線島においては8月に鳴き声を確認。9月に姿および鳴き声を確認した。

## 【調査写真】

### 写真1:ハヤブサ



(4月26日 ふ化したヒナ)

### 写真2:植生



イヨカズラ



ジュウニヒトエ



イヌノフグリ



キンラン



ギンラン



ビャクシン

写真3:海生生物



ヒジキ



サビ蛸科



ヨメガカサガイ



ノギリモク



サザエ



ムラサキウニ

写真4:カンムリウミスズメ



(4月13日 祝島の東側)

以上